

## **2 集落活動センターの 立ち上げに向けた手順**

# 集落活動センターの立ち上げに向けた手順(基本的な流れ)

## STEP1 地域の選定

- 市町村で集落活動センターに取り組むことの内部決定
- 市町村や関係機関で地域の選定
- 候補地域の現状把握  
(地域のまとまり状況やリーダー役の存在等)
- 地域への打診(区長など、地域のリーダーに意向確認)
- 高知ふるさと応援隊の導入・活用の検討(準備段階から導入する場合)
- 区長会等での説明
- 区長等住民からの要望  
や提案に基づく対応
- 住民との協議(意向確認)

市町村のグランドデザインに基づくケース

地域から要望があがってくるケース



## STEP2 地域リーダーや関係機関との検討・地域ビジョン作成準備

- 地域の課題、将来像の検討
- 活動内容のアイデア出し
- 地域での検討方法の協議
- 高知ふるさと応援隊の導入・活用の検討(準備段階から導入する場合)

地域外人材は、プレイヤーとしての期待だけでなく、将来ビジョンの策定段階での地域外の視点、新たなネットワークづくりのためにも有効



## STEP3 地域ビジョンの作成・地域住民の総意

- 住民座談会やワークショップ等を通じて、地域の課題や将来像の整理・共有  
(座談会等では、市町村・地域支援企画員・高知ふるさと応援隊等が助言等を行う)
- 課題解決策の手法として集落活動センターという仕組みづくりの検討
- 住民の合意形成(集落総会などで総意確認)



## STEP4 集落活動センターの活動計画

- 集落活動センターとしてどのような活動をするか等の **計画作成**  
(計画作成にあたっては、市町村・地域支援企画員等が助言等を行う)
- **運営組織** や拠点施設の検討  
(体制や規約等の検討にあたっては、市町村・地域支援企画員等が助言等を行う)
- 高知ふるさと応援隊の導入・活用の検討(立ち上げ後に導入する場合)
- 住民の合意形成(集落総会や運営組織の総会等で活動計画の周知・承認)

必要に応じて、集落活動センター推進アドバイザー制度の活用や研修会への参加等



## STEP5 市町村の支援

- それまでの話し合い等の結果をもとに、**予算措置、支援体制などの決定**

※  は、集落活動センター推進事業費補助金の要件

# 集落活動センターの立ち上げに向けた手順

< 事例紹介 >



※記載している集落活動センターの活動内容は、開所当初の取組です。

## < 集落活動センターに取り組んでいる地域のポイント >

- ★ 住民が地域に誇りを持っている
- ★ 地域住民に危機感がある
- ★ 住民が話し合う場がある
- ★ まとまりがある(まとまりやすい)
- ★ リーダーやまとめ役が複数いる
- ★ 共通の目標(地域の将来ビジョン等)がある
- ★ 必要に応じて地域外の方を活用している
- ★ 話し合いや活動の場に女性や若者の姿がある
- ★ これまでも地域活動に取り組んできた

